

【言語聴覚士のいる機関】

- 医療 : 病院・診療所などの
リハビリテーション科、
脳神経外科、耳鼻咽喉科、神経内科、
歯科、口腔外科、小児科、など
- 保健 : 保健所、保健センターなど
- 福祉 : 介護老人保健施設、
障害者福祉施設、障害児療育施設、
ことばの相談室、児童相談所など
- 教育 : ことばの教室（通級指導教室）、
難聴学級、特別支援学校など

【対象とする障害】

- 失語症
- 認知症
- 器質性構音障害（口唇裂、口蓋裂を含む）
- 学習障害
- 聴覚障害
- 吃音
- 言語発達遅滞
- 運動障害性構音障害
- 機能性構音障害
- 音声障害
- 摂食 嚥下障害
- 脳性まひ
- 自閉症

…など

【言語聴覚士とは？】

言語聴覚士はことば・声・聞こえによるコミュニケーションに困難を抱えている乳幼児から高齢者に、専門的サービスを提供し、その人らしく豊かな生活を構築できるよう支援する専門職です。また、摂食・嚥下（飲み込み）の問題にも専門的に対応します。

言語聴覚士はこのような問題の本質や発現メカニズムを明らかにし、必要に応じて、適切な訓練、指導、アドバイス、その他の支援を行います。

1998年9月には「言語聴覚士法」が施行され国家資格となりました。

【事務局】

圏央所沢病院
地域連携室内



〒359-1106

埼玉県所沢市東狭山ヶ丘 4-2692-1

FAX : 04-2920-0507

E-mail : st-saitama-jimukyoku@ken-o-
tokorozawa-hosp.com

コミュニケーションの支援をする

言語聴覚士

埼玉県の木 ケヤキ

Saitama Association of Speech-Language-Hearing Therapists



一般社団法人

埼玉県言語聴覚士会

<http://www.st-saitama.org/>

【ご相談下さい！！】



話す

- 言いたいことが出ない
- ことがうまく理解できない
- 読み書きができない



声・発音

- 声がかすれる
- 呂律がまわらない。
- 吃(ども)る
- 子どもの言葉の発達が遅い
- 子どもの発音が気になる



聞く

- 聞こえにくいと感じる
- 補聴器の使用を考えている
- 音への反応が鈍い、
はっきりしない



食べる

- 噛みにくい
- 飲み込みにくい
- むせる

埼玉県のマスコット
コバトン

【埼玉県言語聴覚士会とは】

埼玉県の地域的特徴に適した対応を行い、言語障害を持つ方、そのご家族はもとより、地域の全ての方に貢献・寄与するための組織として、埼玉県内の言語聴覚士が集まり、2003年5月に発足しました。

日本言語聴覚士協会と連携を図り、埼玉県を代表する言語聴覚士の組織として、「日本言語聴覚士会都道府県県士会」としての活動も行なっています

◆活動

- 地域リハビリテーションに関わる制度の充実、拡充
- 言語聴覚障害のリハビリテーションに関する理解と知識の普及
- 埼玉県域の関連団体との連携・交流
- 言語聴覚士の資質の向上
- 言語聴覚士の職域の拡大と社会的地位の向上
- 会員相互の連携や親睦に関する事項

◆会員数・会員所属機関

会員数：350名 会員所属機関：136施設
<正会員> (平成25年6月現在)

言語聴覚士法の規定による言語聴覚士の免許を有し、埼玉県内に在住あるいは勤務する者
<準会員>
本会の目的に賛同し理事会で認められた者
<賛助会員>

本会の目的に賛同し理事会で認められた団体および企業等